

# 新年の郷

— 第26号 —

令和7年(2025年)1月発行  
発行者 一般社団法人  
山口県身体障害者団体連合会  
山口県山口市大手町9-6  
TEL 083-928-5432  
FAX 083-928-5436  
(障害者ホットライン専用)  
TEL 083-928-5580  
メール: webmaster@syogai35.com  
HP: https://syogai35.com/



## 山口県知事 村岡 嗣政

新年明けましておめでとうございます。  
謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、より良い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

山口県身体障害者団体連合会におかれましては、平素から、県の取組と連携いただきながら、障害者福祉の向上に積極的に取り組んでおられますことに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

昨年、米誌ニューヨーク・タイムズの「世界で行くべき52か所」に、本県の山口市が選ばれるなど、魅力あふれる山口県が国内外から大きな注目を集めました。

今年は、こうした本県が有する高いポテンシャルを最大限発揮し、県のさらなる成長を実現するとともに、これを人口減少・少子化をはじめとする様々な政策課題の克服につなげ、ウェルビーイングにあふれる山口県の実現に向けて、県政の各分野でしっかりとした成果を積み重ねていく、充実した1年にしたいと考えています。

私は、県民誰もが豊かさと幸せを感じられる「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向けて、これまで進めてきた取組の成果を基盤に、本県のポテンシャルを最大限活かしながら、活力の一層の向上に取り組むとともに、県政の諸課題の克服に向けた取組を全力で進めていくこととしています。

とりわけ、障害福祉の向上については、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」に基づき、障害を理由とした差別の解消や、障害理解の促進に向けた取組を一層強化し、障害の有無に関わらず、皆が支え合い共生する地域社会の実現に向けた取組を、さらに推進してまいります。

こうした取組を進めるためには、今後とも、貴連合会の皆様のたゆまぬお取組やお力添えが大きな力になると考えておりますので、なお一層の御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、山口県身体障害者団体連合会の益々の御発展と、皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念し、新年のご挨拶といたします。



## 一般社団法人 山口県身体障害者団体連合会 会長 宮原 博之

謹んで新春をお祝い申し上げます。  
頒春の候、連合会会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より連合会活動並びに、障害者の福祉にご理解ご協力を賜っております事、厚く御礼申し上げます。

昨年1月1日に発生した能登半島地震、9月の豪雨災害にてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、すべての被災された方々にお見舞いを申し上げます。

前述のような激甚災害発生時の避難に於いて、情報収集が一番の課題であると考えます。近年のデジタル社会に於いて、携帯情報端末(ICT機器)の活用の為、当障害者社会参加推進センターでは「障害者ICTサポート事業」を展開しております。多様な障害に対する機器の操作も多様であり、そのような機器の操作方法をサポートする「障害者ICT教室」へ奮ってご参加ください。

さて、障害者スポーツに於いては、昨年の「パリパラリンピック2024」はまだ記憶に新しいかと思いますが、続いては、「SAGA2024全国障害者スポーツ大会」が閉幕し、今年は「2025年デフリンピック東京大会」が開催されます。ろうあ者のスポーツの祭典であるデフリンピック大会の開催を契機に、デフスポーツへの理解のすそ野を広げ、障害のあるなしに関わらず共にスポーツを楽しみ、尊重しあう共生社会づくりに貢献できるものであると大いに期待するところであります。

末筆ながら、皆さまにとりまして本年が幸多き年でありますよう、祈念申し上げます。



## 一般社団法人 山口県身体障害者団体連合会 常務理事 大下 博

新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆さまには、平素より当連合会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、障害者の社会参加推進に関する事業に、ご支援を頂いております皆様方に対しまして厚くお礼申し上げます。

2024年8月28日から9月8日までの12日間にわたって、パリ2024パラリンピック競技大会が開催された皆さんの感動と勇気をもらいました。

さて、山口県では、障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例が施行されています。また、あいサポート運動も展開しています。あいサポート運動とは、皆さんに障害の内容・特性や、障害のある人が困っていること、障害のある人への必要な配慮を理解していただき、障害のある人への配慮やちょっとした手助けを行っていただく運動です。私も、あいサポートメッセンジャーとして取り組んでおります。

ところで、私ことですが、2024年10月24日から29日までの6日間、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」の選手団(選手:68人、役員:54人)個人競技・団体競技の皆様と役員として参加させていただきました。壮行式には、村岡副知事をはじめ、県障害者支援課のスタッフの皆様大変お世話になりました。アーチェリー競技も所期の目標を達成することができ、選手・役員大変喜んでおります。

結びに、この1年が、皆様にとりまして、良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 障害者 ICTサポート総合推進事業

### ● 肢体障害者 ICT機器体験、相談会 9月6日(金)～7日(土) ルルサス防府

初めての試みとなる機器体験・相談会では、当事者はじめ支援者の方々に多くの機器に触れていただくことができました。障害等によりコミュニケーションが難しくなった方々がICTを活用し日常的な会話、社会との繋がりを持ち続けることができることを実感した大変有意義な2日間となりました。



### ● 障害者 ICTサポーター講習会およびスマホ教室

9月21日(土) 防府市身体障害者福祉センター

午前中は講習、午後からは教室を開催しました。サポーターは午前中に学んだノウハウを活かし、午後から参加された方々にスマホの便利さや楽しさ、それぞれのレベルやニーズに合わせてサポートを行いました。参加者はカメラ編集アプリや旅行情報検索など、今まで以上にスマホを活用できるよう積極的に取り組まれています。



### 山口県身体障害者・知的障害者相談員研修会

10月15日(火) 山口県健康づくりセンター

当事者やその家族から相談に応じる相談員として、障害のあるなしに関わらず誰もが自分らしく生きるために必要な情報や知識を学びました。

講演Ⅰ「障害者福祉施策の動向について」

講演Ⅱ「人権に関する取組の考え方」

講演Ⅲ「障がい者アートにスポットライトを」

講演Ⅳ「生活交通の利用促進について」



### ステップアップいきいき講座 第3回書道講座

10月5日(土) 山口県身体障害者福祉センター

山口県障害者芸術文化祭に出展する作品の仕上げに一生懸命取り組みました。この書道講座の受講生2名が山口県障害者芸術文化祭にて入賞することができました。







## 第30回山口県障害者芸術文化祭

### ●応募作品展示会

山口県政資料館 11月19日(火)～11月28日(木)

心のこもった個性あふれるすべての応募作品(絵画122点 書道46点 写真29点 手工芸47点 文芸11点 俳句短歌28点)が展示されました。



### ●中国・四国巡回型アートプロジェクト2024

(協力:中国・四国アールブリュットサポートセンターパスレル)



アートデリバリープロジェクト作品展では、中四国各県から厳選された個性豊かな作品が会場を飾りました。

ペチャクチャ鑑賞会では、講師に会田大也さんをお招きし、来場された皆さんと、作品について楽しく語り合い、作品展の新たな世界が広がりました。

### ●式典及びステージ部門 カリエンテ山口 11月30日(土)

応募総数283点の中から選ばれた受賞作品29点の表彰式が行われました。

ステージ部門では、4団体による演奏やダンスが披露されました。



### ●第30回記念イベント ゆめタウン山口 12月1日(日)

より多くの方に芸術作品を鑑賞していただくこと、また障害者の理解促進や共生社会の実現を目指すことを目的にイベントを開催しました。

文化祭最優秀賞作品展、アートデリバリープロジェクト作品展、文化芸術ワークショップを開催し、ものづくりの楽しさを体験しながら、障害のある方々が制作された作品を鑑賞し、身近に感じていただくきっかけとなりました。

## 第39回 障害者による書道・写真全国コンテスト

書道部門828点、写真部門198点(うち携帯フォト73点)の作品の中から選ばれました。

部門	賞	氏名	題名
書道部門	銀賞	嶋田浩伸	望
	銅賞	下瀬教子	元気な子
写真部門	銅賞	三井秀典	水辺のひとつき

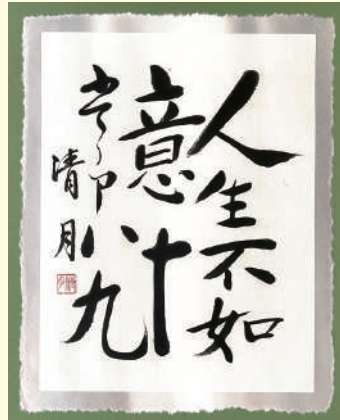


# 第30回 山口県障害者芸術文化祭受賞作品

## 優秀賞 山口市長賞



絵画 下関市 パラレルワールド 中川希乃



書道 山口市  
人生意の如くならず～  
梅地鶴代



手工芸 宇部市  
花ノココロ。  
藤田和恵



俳句短歌 山口市  
老鶯 桐井眞代

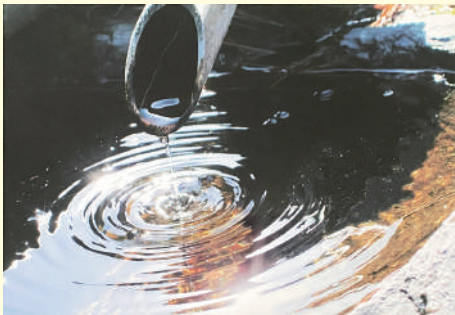


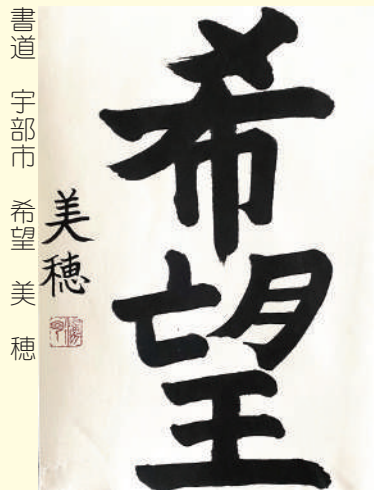
写真 山口市  
情緒漂う波紋 三井秀典



文芸 山口市  
お祭り 月岡美千代



絵画 山口市 復活 DAIJYU

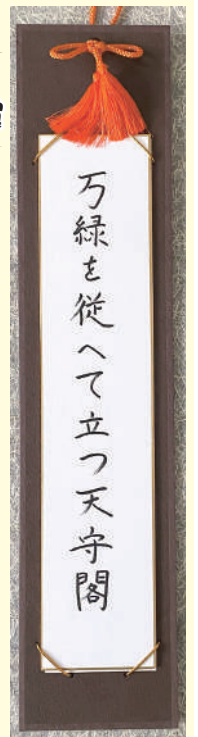


書道 宇部市 希望 美穂

## 優秀賞 山口県社会福祉協議会長賞



手工芸 宇部市  
いろんな形の模様  
栗原千穂



俳句短歌 岩国市  
夏の岩国城  
古賀正浩



写真 宇部市  
冬日の海峡 椿実



# 優秀賞

## 山口市社会福祉協議会長賞

写真 下関市  
旅立つ前 藤井聖嗣



手工芸 山口市  
藍(愛)がいつぱい はあとキッズ・新山口



絵画 下関市  
くるりん Atsuki



書道



山口市 天に星 伊勢嶋直  
地に花 人に愛

俳句短歌 長門市  
汗じわり 動かぬ身体 夏の午後 岡崎多恵



# 特別賞

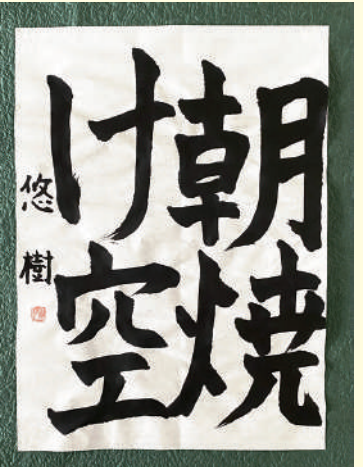
## 山口県障害者 社会参加推進センター所長賞



絵画 周南市 金魚ちょうちん作ったよ 井上泰生

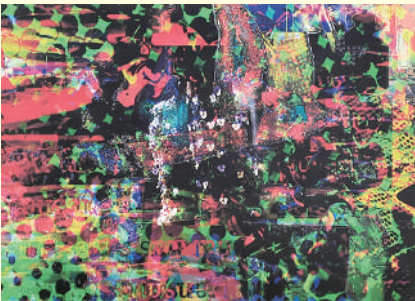


絵画 周南市  
だいすきな いもうと  
河野美由紀



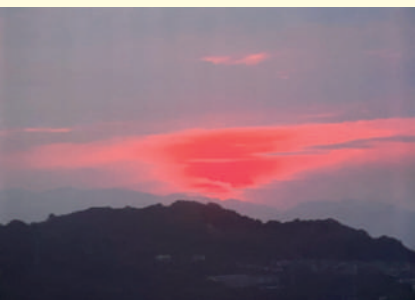
書道 宇部市  
朝焼け空 町 悠樹

希望 絵画 周南市  
Hiko Nakamura



写真

下松市  
夕日 吉山 泰



書道 防府市  
桃 下瀬教子



手工芸 防府市  
青の架橋～角島風景～  
防府保養院デイケアセンターはばたき



## 県身連加盟団体紹介 No. 6

### 萩市身体障害者団体連合会の活動



萩市身体障害者団体連合会は、萩市の6身体障害者団体で構成されています。

毎年、会員同士の親睦を図るために、合同研修会をおこなっています。また、お隣の阿武町身体障害者福祉協議会とも交流会を開催していますが、会員の高齢化などにより会員数は減少し、行事への参加者も少なくなっています。そこで、今年度、市内の身体障害者手帳保持者の方に広報誌等で呼びかけ、各団体会員の増強と交流を図ることを目的にポッチャ交流会を開催しました。会員以外の方の参加は少数ではありましたが、入会された方もいらっしゃいました。今後も団体の活動を広く周知し、会員増強に繋げていきたいと思ひます。

### 表彰式

10月31日(木)ルネッサ長門で開催された第75回山口県総合社会福祉大会にて山口県身体障害者団体連合会会長表彰の表彰式が行われました。栄えある受賞おめでとうございます。



賞区分	市 町	氏 名	団体名
会長表彰	下関市	田丸 隆 宏	下関市身体障害者団体連合会
	萩 市	山本 信 男	萩市身体障害者団体連合会
	柳井市	松原 八重子	柳井市身体障害者わかかな会
	阿武町	田中 ヒサヨ	阿武町身体障害者福祉協議会
功労表彰	萩 市	長山 保	萩市身体障害者団体連合会
	萩 市	白上 悦子	萩市身体障害者団体連合会
	萩 市	吉野 貢	萩市身体障害者団体連合会
	山陽小野田市	大野 桂子	山陽小野田市障害者協議会
模範障害者表彰	下関市	中村 彰	下関市身体障害者団体連合会
	柳井市	北村 真里子	柳井市身体障害者わかかな会

## リボン運動☆みなさんはいくつ知っていますか?? No.17・18

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけ、支援を表明するために身につけるアイテムを“アウェアネス・リボン”と言ひます。アウェアネスとは、気付き・認識という意味です。

そして、身につけたリブログに載せたりして周囲に理解と支援を広めようとすることがボランティア活動にもなります。

### 17、ブラックリボン 哀悼の意

インターネットにおいて人々の間の情報及び考えの自由な交換を訴える活動。または追悼の意味。

アメリカの9.11やフランス・パリで起きた同時多発テロの犠牲者への追悼の意味が込められている。

GoogleやApple、Amazon等ウェブサイトのトップページにも表示されていました。FacebookやYouTube等もフランス・パリのテロが起きたときには追悼の意を示すためにアイコンやトップ画のロゴ等をフランスの国旗にしていました。

### 18、フラグリボン

意味はブラックリボンと少し似ていて、9.11同時多発テロの犠牲者への追悼の意味が込められています。見た目もアメリカならではの柄となっています。



### リボンの色と意味

1イエロー	障害者の自立
2オレンジ	児童虐待
3シルバー	発達障害
4パズルリボン	自閉症
5ピンク	乳がん
6ホワイト	妊産婦の命を守る
7きみどり	親子の絆
8透明	見えない障害
9うぐいすリボン	表現の自由
10そら色	性同一性障害
11レインボー	同性愛
12ゴールド	小児がん
13グリーン	移植医療普及
14レッド	エイズ
15ブラウン	北方領土返還・禁煙
16ティール&ホワイト	子宮頸がん
17ブラック	哀悼・ネット上の自由
18フラグリボン	9.11の犠牲者へ
19パープル	女性に対する暴力根絶
20ブルー	拉致問題

リボンの種類は他にもあります

## 山口県障害福祉サービス協議会からのお知らせ

視察研修「障害者の地域社会における共生の実現～安芸太田町(月ヶ瀬温泉)・しらかば園から学ぶ～」

令和6年11月12日(火)、13日(水)の2日間、視察研修会を開催しました。初日は広島県安芸太田町での「生涯活躍のまち」モデル事業としての、町とJOCA×3<sup>※</sup>による、あらゆる人が「ごちゃまぜ」で交流できる場所づくりの実践報告と町内の視察を、2日目は岩国市の「しらかば園」での多角的な障害者支援の実際を視察しました。初日の夕食時には厚労省の現職の方や町役場の方、JOCA×3の方々等との懇親と意見交換を行いました。

研修会は過疎化が進む山口県での、地域創生や共生社会の在り方について考える、実り多い視察研修となりました。

※JOCA×3は、(公社)青年海外協力協会(JOCA)の安芸太田町(旧3町村合併)における拠点



■山口県障害福祉サービス協議会(障サ協)  
TEL: 083-924-2799 FAX: 083-924-2798  
e-mail: syougai@yg-you-i-net.or.jp  
障サ協HP: https://ymg-sfs.jp

## 山口県手をつなぐ育成会からのお知らせ

### ■7月 母親(父親)フォーラム

今年のテーマは『知的・発達障害のある人の意思決定について』障害者の様々な権利が保障されるようになり、家庭でも福祉サービスの現場でも当事者の意思を踏まえた支援が必要になってきました。重度の障害がある人でも必ず持っている「意思」や「思い」があり、自分のことを自分で決めることができる可能性があること。そのために、まず「体験・経験機会の提供」「情報提供」「決め方の支援」が必要であり、本人が決めた後の「表出受止め」「意思実行のサポート」が求められることを学びました。参加者は、「こどもを守ってきたつもりが本人の意思決定の機会を奪ってきたのか…」と反省しつつ、これからの支援につなげる思いを新たにしました。支援教育で学ぶ年齢期の保護者の方の参加も多く充実した研修となりました。

### ■11月 第49回手をつなぐ育成会福祉・教育振興山口県大会(北部ブロック大会)

能登半島地震や水害被害被災者に心をはせ、長門市「ラポールゆや」にて、知的・発達障害のある人の防災と共生社会を考える大会を開催しました。親・家族、福祉・教育関係者だけでなく当事者もそれぞれの立場で学び合いました。



問い合わせ先 山口県手をつなぐ育成会 事務局  
〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内  
電話 083-925-2424 FAX 083-925-2212



## 山口県知的障害者福祉協会からのお知らせ

令和6年11月19日(火)下松市スターピアくだまつにて、第34回山口県知的障害施設福祉振興大会が開催され、県内各施設より300名余りの方が参加されました。

周南公立大学人間健康科学部副学部長・教授 難波利光氏を講師にお招きし、「誰もが住みやすい地域社会のために必要なものー社会福祉士の連携能力を活かすー」をテーマにご講演いただき、未来の福祉を担う学生の育成について知識を深めることができました。

## 国立県営 広島障害者職業能力開発校からのお知らせ

障害のある方々に、様々な職種についての知識や専門的な技術、技能を習得していただくために、職業能力開発促進法に基づいて国が設置し、県が委託を受けて運営する職業能力開発施設です。(授業料無料 寮有り)

ただいま令和7年度4月入校生募集中です。 募集期間 令和7年1月31日(金)まで

訓練期間	訓練科目	定員
2年	CAD 技術科	14名程度
	情報システム科	若干名
	Web デザイン科	4名程度
1年	OA ビジネス科	16名程度
	音声パソコンコース (OA ビジネス科)	3名程度
	事務実務科	8名程度
6か月	総合実務科	26名程度
	チャレンジコース (総合実務科)	5名程度

※詳しくは、ホームページ 又は、お問い合わせください。

【お問い合わせ】

広島障害者職業能力開発校

〒734-0003 広島市南区宇品東四丁目 1-23

TEL082-254-1766 FAX082-254-1716

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/188/

又は、居住地を管轄する公共職業安定所 (ハローワーク)



校舎の風景



実習風景 (CAD技術科)





# 第30回 山口県障害者芸術文化祭応募作品展示会 最優秀賞(山口県知事賞)受賞者感想



絵画：櫻井星碧



書道：嶋田浩伸



写真：佐藤ちよ子

この度は最優秀賞に選んでいただきありがとうございます。賞の知らせにまさかと驚き後に嬉しさが込み上げました。車いすになり場所を選び体幹も弱く思うように撮れなくなったもどかしさを抱えつつ工夫しながら撮り続けています。この作品を撮る時も光を取り込むのに支えてもらいました。そんな中での最優秀賞が預けたことは喜びと手助けしてくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞を励みに、さらに創作活動に励みます。



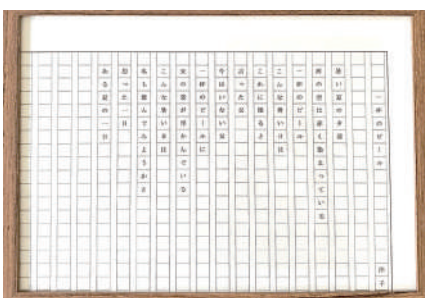
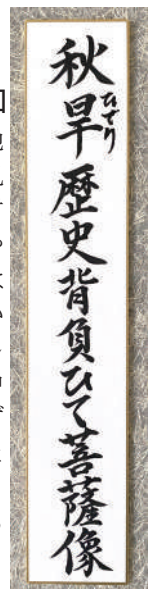
手工芸：柳井病院デイケア女子会

今回もたくさんのお応募があった中で、最優秀賞に入賞できたことは、非常に喜ばしく思わずガッツポーズをしてしまいました。私達、柳井病院デイケア女子会は、活動内容によって参加人数の変動がありますが、15人前後で成り立っています。一生懸命取り組んだ作品でしたので、参加者全員驚きと嬉しさで笑顔が弾けていました。本当にありがとうございました。



俳句短歌：小嶋シズコ

京都在住の若い頃、奈良の地図を片手に寺社巡り。その頃見たであろう国宝や重要文化財の仏像が山口県立美術館へやって来ました。仏像との再会は目を見張り、思い出と共に懐かしく、とても感動的なものでした。この幸せ感を帰りの車の中で俳句にしました。「夢のみずうみ村」の俳句会からの提出となりました。職員の皆さんありがとうございました。これからもよろしくお願ひ致します。



文芸：古屋洋子

片倉病院デイナイトケアへ通うなかで毎月新聞に詩を投稿しています。その中で好評のあった作品を出しました。まさか最優秀賞を受賞するとは思っていなかったもので驚きました。展示会で赤い花が貼ってあったのを見て実感しました。名誉ある賞をいただき大変嬉しく思います。詩を作るのが好きなので、これを励みに書いていこうと思います。有難うございました。

